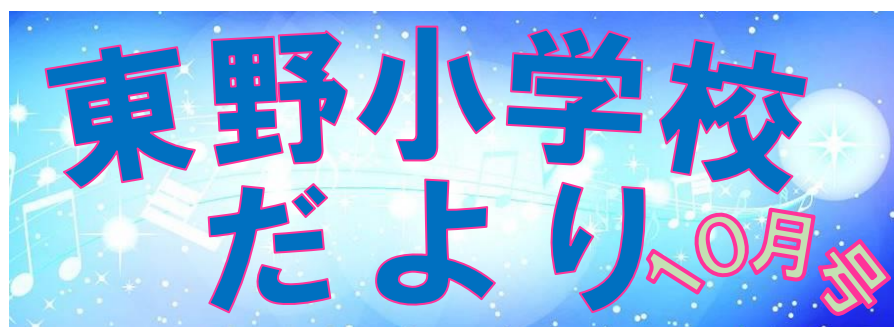


「夢を育み、感動・笑顔・歌声あふれる学校」



学校教育目標

おおらかで たくましく
進んで学ぶ子
地域とともに生きる子



新座市立東野小学校

令和5年 9月29日(金)

TEL:479-7280 ホームページ

FAX:482-6794 QRコード



信じること

校長 齋藤 伸一

9月20日(水)から21日(木)に、6年生と修学旅行に行ってきました。校長として赴任してきて、初めての修学旅行でした。20日の出発時は曇りでしたが、日光に近づくにつれ雨となりました。バスの中での昼食でしたが、次第に雨が上がり、天気が回復し、さわやかな青空の下、戦場ヶ原のハイキングができました。2日目は、あいにくの雨となりましたが、全て予定通り行うことができました。子供たちは、見学や宿での態度などもたいへんよく、さすが東野小学校の最高学年6年生!と感じました。たいへん立派でした。湯滝、龍頭の滝、華厳の滝、東照宮など、その場所に行かないと感じられない迫力や壮大さ、美しさや歴史など、五感を働かせて感じ取ってきたと思います。事前準備の段階からプロジェクトチームを中心に充実したものになり、よい思い出がたくさんできたことだと思います。

これから他の学年も校外学習を行う予定です。友だちとのつながりを深め、公共のマナーや集団行動の大切さを学び、貴重な体験、よい思い出がたくさんできるよう取り組んでまいります。

さて、私は、たまに漫画を読みます。アニメも見ます。校長室前の掲示板には「ワンピース」の主人公ルフィがたくさんいるように、「ワンピース」も好きな漫画の一つですが、一番好きな漫画は、「スラムダンク」です。もう、連載が終わって約27年もたっている、バスケットボールの漫画です。随分昔の漫画なので、知らない方も多いと思います。ですが、今年、「ファーストスラムダンク」として、映画が先月末まで上映されていました。もしかしたら、映画を見た方もいるかと思います。私は、2回映画を見に行きました。



なぜ、この話を取り上げたかという、テレビやニュースでご存じの通り、先日、バスケットボール男子の日本代表チームが、48年ぶりに、自力で、来年パリで開催されるオリンピックの出場権を勝ち取りました。テレビで見ている方も多いかと思います。私自身、体育や遊びでしかバスケットボールをしたことはないのですが、そんな素人でも、このニュースは、とても感動しました。そのバスケットボール男子日本代表チームで、紹介したい選手がたくさんいますが、私が伝えたい話は、選手ではなく、チームの監督であるトム・ホーバスのことです。トム・ホーバスさんは、東京オリンピックの時に、バスケットボール女子の日本代表チームが見事銀メダルを勝ち取った時の監督でもあります。

そのトム・ホーバス監督が選手に話す言葉でいくつか有名な言葉があります。「何してるんですか〜!」も有名ですが、私は、そのなかでも、「信じて」という言葉が非常に印象深いです。

「自分を信じて」、「チームメイトを信じて」、「うちのバスケットを信じて」などと、よく選手に伝えて、チームを鼓舞しています。また、こうも言っています。

「僕は金メダルを取れる気持ちが心からあります。信じていないなら、優勝できない。信じていないなら、体が大きいチームに勝てない。自分の力を信じていないなら、何もできない。」と。

自分の力を信じ、仲間や友だちを信じて、活動する、取り組む、挑戦する。「信じる」という言葉は、子供たちが、学校生活の中で、何か取り組んでいるときに、とても大切な言葉のうちの、一つだと思います。9月の生活目標は、「目標をもって生活しよう」でした。2学期の始業式の日、担当教諭より、生活目標について話があり、子供たちに、取り組むためのキーワードを話しています。まず一つは、「言うこと」。声に出して目標を言うこと。もう一つは、「動くこと」。目標に向かって行動すること、でした。そこに、私から、もう一つのキーワード、「信じること」をプラスして、48年ぶりに自力でオリンピック出場を勝ち取ったバスケットボール男子日本代表チームのように、この2学期を、自分の目標に向かって、がんばってほしいと思います。

